

～ 誰もが 生きていてよかった といえる街をつくりたい ～

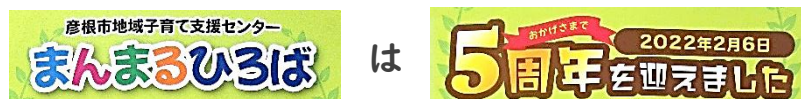


2022 年 春号
No. 227



「いっしょに子育て」～まんまるひろば～

これまで、本当にたくさんの方々にご利用いただき、支えられ



コロナ禍での生きづらさや子育ての大変さ・悩みを感じておられる方々も多いのではないのでしょうか？当初、2月6日(日)に予定していた市民参加型イベントも、コロナ感染症の影響で延期となり、情報発信や情報を受け取る機会が減る中で「この状況を何とかしなければ！今、何かできる事をしよう！」と



～子育て応援団とZOOMで出会おう！～ と題し、3月3日(木)子育てサポーターの12団体と共に市民(利用者)の方々にもご参加頂き、オンラインミーティングを開催しました。産後ケアの悩み、親子で遊べる場所の紹介、子どもの力を引き出す・伸ばす方法など嬉しい！役に立つ！情報が盛り沢山でした。オンライン上で一堂に会することにより、一度に紹介・共有できる、顔が見える事で安心できるその場で聞ける・話せる・情報交換できる、「子育てを一人でなくていいんだ！」と、直接子育てに対する思いに触れ、身近に感じて頂ける大変貴重な機会(場)となりました。参加団体からも「利用者へ情報が届けられる」「団体同士がつながる機会が少ないのでよかった」「どんな事をやっているのかがわかり参考になった」「横のつながりが持てて広がった」などのお声を頂きました。

どこに聞けばいいの？どこに行けばいいの？誰に相談すればいいの？そんな悩みをもつ保護者の方に、少しでも寄り添える場を提供していきたいと考えています。

まんまるひろばは、これからも子育ての『輪』を広げるお手伝いをさせていただきます！

(地域協働室 上田)

利用者さまのご感想

🌸子育てに関する情報を、一挙に知ることができてよかったです。(自分で調べても、あまり出てこなかったり…中身がわからなかったり…情報に偏りがあったり…していました。)

🌸「彦根にこんないいところがあるんだ」とうれしくなりました。

🌸体がボロボロで…産後ケアとかはもっと早く知りたかったです。

🌸市外在住ですが、低体重児さん達のサークルなど人に勧めたいです。

🌸ひこねプレイパークはもう少し大きくなったら参加させてもらいたいです。

🌸ZOOMなので、活動されている方のお顔も見れ、参加してみたい所へのハードルが下がったように感じます。直接質問しやすいです。



3月3日 オンラインミーティングの様子



オンラインミーティング(まんまるひろば)の様子

掲載内容

- ・2面：インスタグラム・フェイスブック はじめました！ / 感謝の気持ちをこめて 手づくりの卒業式
- ・3面：街かどアート特別企画 写真展、國森康弘氏のトークイベント
- ・4面：街かど掲示板 / 求人案内 / 寄付のお礼

街かど掲示板



馬場 まゆみ さん
SO 滋賀
バスケットボール
ヘッドコーチ



＜連絡先＞

馬場 まゆみ(甲良養護学校) 090-5882-0274
石澤 英明(NPO ぽぽハウス) 090-8752-9914

いっしょにバスケットボールを楽しみませんか??

皆さん、こんにちは。NPO 法人スペシャルオリンピックス日本・滋賀(会長：國松善次)です。私たちは、知的障害や発達障害のある人たちに様々なスポーツトレーニングとその成果を発表する競技会を提供する事を目的に2014年に設立された団体です。

現在、愛荘町内の体育館で毎月2回(第2、4日曜日)、バスケットボールの練習をしています。毎回30人程参加され、年齢層も小学生から社会人まで幅広く、個別練習とチーム練習に分かれているので誰でも参加しやすく、運動が苦手な方、初心者でも気軽に安心して楽しめます。ぜひ見学、体験から始めてみませんか。

競技会(公式試合)も地区大会、全国大会、世界大会まで開催されるので、競技会出場に目標を持ちながら練習ができます。

又、一緒に活動いただけるボランティアも募集しています。楽しく身体を動かしてみたい方、ご連絡をお待ちしております。

求人案内

【パート】シフト制 ※詳しくはハローワークの求人票をご覧ください。

◎児童指導員 ※64歳以下

13:00～18:00 14:00～18:00 週休二日制

◎ドライバー(利用者の送迎)

高齢者や障害のある児童等の普通車による送迎
勤務地：平田・大藪・芹川

たくさんの方に寄付を頂きました。心より感謝申し上げます(敬称略)

石澤 佳子、石澤 典子、石澤 英明、大山 純子、川並 正幸、北川 ひとみ、竹松 収、津田 博、永井 理之、中川 恭子、平川 有紀、松本 富、松本 康男、村岡 一美、山路 隆正、山田 真由子、山脇 鈴子
株式会社スマイル&マインド、株式会社エムランド、株式会社イズミ、株式会社ミールサービスたにぐち
有限会社南エンジニアリング、税理士法人 明正マネジメント、有限会社 A・SITE 代表取締役 平居 晋
有限会社北村防災、イチバン・コーポレーション

認定特定非営利活動法人 NPO ぽぽハウス

発行責任者：若林 重一

住所：〒522-0041 彦根市平田町 107-11 (法人事務局)

TEL:(0749)27-9777 mail:popohouse@nifty.com

FAX:(0749)27-9888 HP: http://www.popo-house.jp

芹川町	ぽぽ相談室 (要医療児者支援体制配置)
	・特定相談支援・委託相談 (行動障害支援体制配置)
	・障害児相談支援 (精神障害者支援体制配置)
大藪町	きらめき(障害児通所施設)
	・児童発達支援・放課後等デイサービス・日中一時支援
大藪町	ぽぽハウス(障害児通所施設)
	・児童発達支援・放課後等デイサービス・日中一時支援
大藪町	個別支援室
	・同行援護・行動援護・移動支援

居宅介護支援室

・ケアマネジメント

ぽぽハウス(高齢者通所施設)

・地域密着型通所介護・介護予防通所介護

・ほのぼの(通所型サービスA)

はばたき(障害児通所施設)

・児童発達支援・放課後等デイサービス・日中一時支援

子ども子育て支援室

・すくすく教室(彦根市受託事業)

地域協働室

・市民共生活動・子育てアドバイス相談コーディネート

・あったかルーム(宅老)

車両室

彦根市地域子育て支援センター「まんまるひろば」

(ビバシティ彦根2階)

※認定特定非営利活動法人 NPO ぽぽハウスは、「認定 NPO 法人 しがNPO センター」・「NPO 法人 街かどケアしがネット」の会員です。

Instagram(インスタグラム)・facebook(フェイスブック)はじめました！

～ 情報の即時性(新鮮性)で、法人活動を多くの人に身近に感じてもらう ～

昨年末より、ぽぽハウスの日々の活動などを幅広く沢山の方に知って頂けるよう、SNS 投稿を開始しました。ぽぽハウスでは今、どんな活動をしているかなど、リアルタイムで発信していくことで、私たちの活動を知って頂くだけではなく、広く、より身近に感じて頂きたいと思っています。

SNS を通じて、他の NPO 法人・事業所などの投稿も活動の参考にし、様々な方とつながり、支えあいながら、今後もさらに地域共生に邁進していきます。(地域協働室 鈴木)



ぽぽハウスでの活動の写真を投稿者のコメントと共に掲載します



投稿本文内、#で投稿した部署が分かるようにしています

例:インスタグラムの投稿。あったかルーム(宅老)

感謝の気持ちをこめて 手づくりの卒業式

3月6日(土)に、NPO ぽぽハウスの障害児通所施設「はばたき」に通所する高校生7名の卒業式がはばたき2階で開催されました。

卒業生が感謝の気持ちをこめて入れたお茶を、おかあさんに飲んでもらうことから始まりました。ご利用当初からはばたきで過ごした様子の「思い出のスライドショー」を見て、子ども達が様々な経験を積み重ね成長してきたことを振り返り、職員も保護者も感慨深い気持ちがこみ上げてきました。副理事長の福井から子ども達へ、これから社会に出ても応援していること、保護者の皆さんがNPO ぽぽハウスを信頼し、お子さんとの係わりがくれたことに感謝の気持ちを伝えられ、双方の絆が感じられる卒業式となりました。(地域協働室 尾本)



ご卒業おめでとうございます

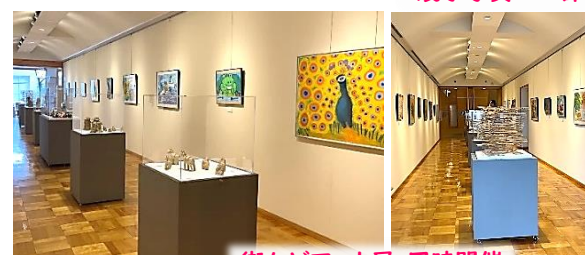
医療的ケアの必要な子どもたちへの地域支援を考える (街かどアート実行委員会特別企画展)



国森さんと、家族、スタッフによるセッション



展示写真の一部



街かどアート展 同時開催

彦根市にある社会福祉法人『道』が、クラウドファンディングに挑戦。多くの支援により2021年7月に「笑顔をありがとう」の写真集を出版されました。医療的ケアが必要でも、思うように動けなくても、言葉を話すのが難しくても、笑ったり、怒ったり、泣いたりして、多くの気持ちを私たちに伝えてくれます。その姿に家族や支援者は、大きなエネルギーをもらっています。



3月23日～4月10日 愛荘町立愛知川びんてまりの館で開催された「街かどアート展特別企画展・笑顔をありがとう～写真でつづる森のお家と仲間たちの成長～」関連行事の中で「地域で家族と生きること」と題し、国森康弘氏(写真家・ジャーナリスト)のトークイベントが開催されました。地元住民を始めいろんな分野の方々の参加者に、国森氏は、撮影された50枚の写真を通して「人間の内面から湧き出る生命力や多様性を認め合う地域創出が大切である」と語られました。

また、柴田恵子理事長やご家族の方も登壇し、将来の生活への不安や生活支援の枠組みづくりの大切さを発信し、医療的ケアの必要な子どもたちの地域での暮らしをあらためて考える機会になりました。

人は皆、それぞれの立場や境遇の中、多くの喜びや生きづらさを抱えて暮らしています。国森氏の語りや写真集に登場された子どもたちの笑顔、そして共に生きる人々の思いからいろんな立場の人がつながり、支え合える地域創りの必要性を感じました。

笑顔と出逢った時、私たちは大きな力を体感できるでしょう。写真展は、これからもまだまだ続きます。皆さんの温かい支援をよろしくお願いします。(地域協働室 石澤)

※この企画展は「NHK おうみ発630」でも取材されました

国森 康弘氏 写真家、ジャーナリスト

1974年生まれ。
京都大学経済学研究科修士号、英カーディフ大ジャーナリズム学部修士号。
イラク戦争を機に新聞記者から独立。紛争地や経済困窮地域を回り、国内では戦争体験者や野宿労働者、東日本震災被災者たちの取材を重ねてきた。命の有限性と継承性をテーマにし、近年では看取り、在宅医療、地域包括ケアの撮影に力を入れている。
2011年度 上野彦馬賞グランプリ、コニカミノルタ・フォトプレミオ2010、ナショナルジオグラフィック国際写真コンテスト2009日本版優秀賞など受賞。

